

第68回新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部会議  
(新型インフルエンザ等対策本部会議) 議事録

日時：令和4年4月18日(月) 16:00~16:20

場所：第三応接室

○築田危機管理局次長

ただいまから、第68回新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部会議を開催します。本日の手話通訳者は、古田美絵さんと、障害福祉課 山上美紀さんです。

はじめに、危機対策本部の対応状況について、統括調整部から説明があります。

○橋本統括調整部長

それでは資料1を御覧ください。本日の危機対策本部会議の開催趣旨ですが、春祭りやゴールデンウィークを迎えるに当たり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止に向けた対応の確認ということになります。

発生状況等については、このあと健康福祉部から説明があります。2ページ以降に各部の対応状況が記載されており、変更点については、アンダーラインを記載しておりますが、ほとんどが4月11日以降における施設の開館等の追加となります。5ページですが、環境生活部の上部にある企画政策部の対策についてです。春祭りやイベント等における会食等による感染拡大を防止するため、ポスターやテレビCM等による広報を実施していることを記載しています。この資料については以上です。

○築田危機管理局次長

次に、感染症の状況等について、健康福祉部から説明があります。

○永田健康福祉部長

それでは、資料2以降に基づき、新型コロナウイルス感染症の発生状況等について御説明させていただきます。

昨日4月17日16時半現在までに判明した感染者の累計数は、43,171名となっています。おめくりいただきまして、入院等の状況です。昨日16時半のものとして、入院されている方のうち、重症の方は2名、中等症の方は20名となっています。宿泊療養者数、自宅療養者数等については、表に記載のとおりで、これまでの累計の死亡者数については、93名となっている状況です。

続きまして、資料3に基づき、感染の状況について御説明いたします。1枚目の下、レベル分類の指標の一番直近の値です。表の一番上、1週間当たりの新規陽性者数と前週比ですが、今週は人口10万人当たり約220人となっています。前週比0.843となっているところで、少し下がった、あるいは高止まりという状況です。そのほか、1週間当たりの新規陽性者に占める70代以上の数や、療養者数等につきましては、これまでのトレンドと特段の変化はないという状況です。具体的にその内数を見ていきたいと思えます。

1枚おめくりください。人口10万人当たりの1週間の新規陽性者数について、各地域の状況を示したものです。表の一番上の行を御覧ください。今週は、青森、津軽、八戸、西北五、上十三、下北、県全体いずれも、先週よりも少なくなっているという状況です。

続きまして、5枚目ですが、1週間当たりの新規陽性者数については、引き続き青森市が200人以上、弘前市が200人以上、八戸市が500人以上となっています。

6枚目です。高齢者65歳以上の数と割合ですが、これまでのトレンドと特段の変化の傾向はなく、高齢者数については、しっかり低い値となっています。

おめくりいただきまして、70代以上の数と割合についても、同様の傾向となっています。

8枚目ですが、10歳未満・10代の数と割合については、引き続き40パーセント前後というところで、県の感染の中心となっている状況です。最近の具体的な事例を確認しますと、小学校、幼稚園の再開があり、感染者がやや増えてきているという印象です。

9枚目が全年代での状況です。これまでのトレンドと概ね変わらず、先ほど御説明したとおり、70代以上の数については、しっかり低い値の傾向が続いているという状況です。

10枚目、病床使用率の推移ですが、70代以上の方の感染も非常に少なく、病床使用率は、20パーセント前後で推移しており、重症病床使用率についても、低い値となっています。

11枚目、自宅療養者数と療養等調整者数の合計ですが、引き続き感染者が出ていることから、数として少し多く見えるところですが、保健所の業務については、しっかりと継続できている状態となっています。

13枚目、クラスターの発生状況です。学校の再開に伴い、学校、保育施設、児童福祉施設でのクラスターがまた増えているという印象です。施設についても、引き続き発生しているところですが、速やかに保健所等で指導等を行っている状況となっています。

14枚目、感染状況のまとめです。これまで御説明をしてきたとおり、新規陽性者数については、対前週比0.84と減少しているものの、概ね高止まりという評価をしています。新規陽性者のうち、70代以上の数と割合については、明らかな拡大傾向は認められておりません。病床使用率についても、現在は20パーセント台で推移しており、明らかな上昇が認められていません。いずれも入院が必要な方については、しっかりと対応できる体制を維持できております。自宅療養者数と療養等調整者数の合計数についても、ほぼ釣り合っている状況でして、自宅療養者への連絡・状況確認等については、滞りなく実施できているところです。下がまとめです。今後も一定程度、保育施設、高齢者施設等での新規陽性者が発生すると見込んでいるところですが、引き続き、医療提供体制の負荷増大による大きな支障が生じるような事態には至らないものと見込んでいるところです。

次の資料4を御覧ください。3月末に積極的疫学調査の集中化の方針が国から出たことを踏まえ、県としてもこの集中化という方式に変更したところですが、これまで、当面1か月間、4月28日までという形で運用させていただいたところですが、この新しい方式である積極的疫学調査の集中化を実行した後についても、現場での混乱等は特に見られなかったことから、当面1か月というところを解除し、今後も長く続く方針として、この方式を進めていくこととします。具体的には、青森県独自の対策として、右から二番目、保育所等で感染者が発生した場合には、引き続き、保健所が一定の関与をして、感染者の状況確認あるいは支援等をしていくという形で、今後も実施していきたいと考えているところです。

資料5です。従前から実施している、感染の不安を感じる無症状の方に対する感染拡大傾向時の一般検査事業は、従前4月末までとしていたところですが、今般、内閣官房との協議が整ったことから、5月末まで延長することとしたいと考えています。

検査対象者は、無症状の方かつ青森県内にお住まいの方としており、ゴールデンウィーク期間中にもこの検査事業は実施しますので、例えば御旅行に行かれてお戻りになった後などについても、御利用いただくことが可能です。

健康福祉部からは以上です。

○築田危機管理局次長

ここまでの説明につきまして質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本部長から指示事項と県民に向けたメッセージがございます。

○三村本部長

それでは、指示事項であります。

県内では、新規感染症患者の発生が高止まりで推移し、クラスターも頻発しています。また、春祭りや各種イベント、大型連休等により人出で賑わう時期を迎えることから、感染状況を更に悪化させないための取組が重要となるものと考えています。

前回の本部会議でも申し上げたように、現在、オミクロン株の特徴等も踏まえ、日常生活や飲食・会食などに係る感染防止対策を継続しながら、経済社会活動を維持することとしていますので、各部にあっては、こうした考え方にに基づき、市町村や関係団体、事業者の皆様方とも連携しながら、感染拡大を抑え、県民の命と暮らし、そして地域経済を守るために、それぞれの所管分野においてしっかりと取り組んでいただくようお願いします。

また、繰り返し申し上げますが、それぞれの職場で感染を広げないよう適切に対応するとともに、職員各位にあっては、公私を問わず、基本的な感染防止対策を徹底していただき、感染リスクの高い場所・場面はできるだけ避けるようお願いいたします。

以上、「感染拡大を何としても食い止める」との思いを共有しまして、引き続き、各部の連携・協力の下で、全庁一丸となって取り組むよう指示します。

続いて、県民の皆様方にお話とお願いがございます。

青森県内の感染状況は、新規感染症患者の発生が高止まりで推移し、クラスターも頻発していますが、病床使用率は現在20パーセント台となっており、医療がひっ迫する状況にはないものと考えています。

その一方で、県内でも、より感染を拡大させやすいオミクロン株のBA.2系統が確認されているほか、今後は、春祭りや各種イベント、大型連休等により人出で賑わう時期を迎えることから、感染状況を更に悪化させないための取組が重要となるものと考えています。

県としては、3回目のワクチン接種率を着実に高めていく必要があると考えており、市町村の取組を支援しているところです。3回目の接種等がお済みでない方は、是非御検討いただきたいと思います。また、ワクチン接種の加速化を図るため、今後、県による広域追加接種を実施することとしていますので、詳細が決まり次第、お知らせしたいと思います。

また、3月29日に運用を変更した積極的疫学調査の集中的実施については、4月28日以降も継続して実施することとし、重症化リスクの高い高齢者等への対応に集中していきます。

なお、無料のPCR等検査も5月31日まで継続しますので、感染不安を感じる無症状の方は御利用いただきたいと思います。

さて、ここからが今回の一番のお願いということになります。これから春祭り等の季節を迎えることとなりますが、主催者等におかれては、徹底した感染防止対策を実施するとともに、参加者全員に決められたルール等を遵守していただくようにしてください。特に、イベント等の前後を含め、人混みを避け、感染リスクが高まる行動は控えるよう、呼びかけをお願いいたします。

飲食店をはじめ各事業者等におかれましては、引き続き、業種別ガイドライン等を遵守していただくとともに、利用者に対する感染防止対策の徹底も御協力をお願いします。

県としても、ポスターやテレビCMなどを活用し、呼びかけています。

(テレビCM動画の再生)

テレビ局の皆様方も御協力ありがとうございます。こういった形で、イベントや飲食・会食等における感染防止対策を、改めて呼びかけているところです。

「STOP! オミクロン」

毎回、同じことを申し上げますが、基本の基本が一番大切。このことを徹底していただきたいと思っております。

外出・移動の際は、できるだけ少人数で、要するに一つの密も避けるために、感染リスクが高い場所・場面は避け、慎重に行動してください。

また、イベント等に出向く際は、その前後も含め、人混みを避け、感染リスクが高まる行動を控えるよう、このことを特にお願いしたいと思っております。

次に、会食等について、これもいつもお願いをし、本当に大変な御協力をいただいておりますが、普段一緒にいる人同士で、少人数を基本として、会話時は必ずマスクを着用し、時間を決めて、お酒は適量でお願いできればと思います。

また、熱、のど、せきなど、具合が悪い時は出勤を控えていただき、医療機関に相談してください。

お子さん方の登校・登園等についても、熱、のど、せきの症状があることで、お子さんの施設や学校のほか、高齢者施設でのクラスター等につながっているケースがあるわけです。

こうした状況を踏まえ、現在、17万5,000人分の抗原検査キットを活用した積極的検査を進めておりますが、基本の対策については、しっかりと守っていただきたいと思っております。具合が悪かったら、まずは休むことや、施設管理者や先生に相談いただくことが、社会全体を守っていくこととなりますので、そのことをお願いしたいと思っております。

また、家庭内の感染を広げないために、マスク着用や手指消毒、密を避ける、うがいをする等も含めて、基本的な感染防止対策をしっかりと行うほかにも、御家族の中で具合が悪い方がいたら、自宅でも全員がマスクをしていただいで接触を避ける、このことで相当感染の確率が下がるようです。

そして何より、小さいお子さん、高齢者の方、基礎疾患の方がいらっしゃる家庭では、御自身や大切な御家族をこのオミクロン株から守るために細心の注意をお願いしたいと思っております。

繰り返しになりますが、高齢者や基礎疾患のある方は、普段一緒にいない方との接触等は、十分注意していただきたいと思っております。団らんの場面では、マスクなしでの会話等は感染リスクが高まりますので、そういった点に御注意いただければと思っております。

さて、今年の春も県民の皆様方と力を合わせまして、感染拡大の抑え込みに取り組む必要があります。これはもう私が申し上げるまでもなく、この感染状況の高止まりを県民の皆様のお一人お一人が感じてくださっていると思っております。これを抑え込む必要があるとそれぞれお考えいただいていると思っております。感染症から御自身や大切な御家族、そして、お仲間を守るために、繰り返し、繰り返しですが、お一人お一人が基本的な感染防止対策を徹底されるとともに、青森県の感染症対策の取組につかまして、何卒、御理解と御協力を賜りますようお願いを申し上げます。

桜の花も咲きまして、ほんとにいい時期になりました。また、これから農家の方々には本当に忙しくなる時期でもあります。だからこそ、日常の基本的な感染防止対策をとるとともに、繰り返しになりますが、普段から一緒にいる方々とこの春は過ごしていただき、その一方で、普段一緒にいらっやらない方々とお会いする場面では、特に気をつけていただきながら、この春、この連休を共に乗り越えていければとそう考えている次第でございます。

お願いばかりで本当に申し訳ございませんが、県民の皆様方お一人お一人の御協力によって、この新型コロナウイルス感染症を共に乗り越えて行くことができるものですので、このことを連休前のお願いとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

#### ○築田危機管理局次長

以上をもちまして、本日の新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部会議を終了します。